

令和4年4月8日（金）

令和4年度 第1学期 始業式 式辞

みなさん、おはようございます。

今日。皆さん方一人一人の、この学び舎での新たな一年が始まります。

今ここに在る、皆さんの思いはどのようなものでしょうか。

おそらく、それぞれが描く夢や理想に向け、決意を新たにしながら登校したのではないかと思います。

思い描く夢や理想は一人ひとり個性のある様々なものだと思います。

しかし、そこに到達するまでに必要となる要素については、この学校で学ぶすべての皆さんに共通すると私は考えています。

ここでクイズです。

第1問：芸術緑丘高校の校訓は？

第2問：芸術緑丘高校の学校教育目標は？

第一問の答は体育館に掲示してあるのでクイズにはなりませんでしたが、「自律・恕思・創造」です。

学校教育目標というのは、皆さんがこの学校を卒業するときの姿と、それを実現するためにどのようにしたらよいかということ、先生方全員で考え、言葉にしたものです。校内に掲示してあるグランド・デザインにも書いてあるので見たことのある人も多いと思います。

本校のそれは「豊かな人間性と高い専門性を育み、校訓である「自律・恕思・創造」を体現させることで、芸術文化の振興に貢献し、社会を豊かにできる人を育てる」というものです。

少し長いので分けて考えてみましょう。

まず、皆さんの卒業時に期待される姿として、「芸術文化の振興に貢献し、社会を豊かにできる人」ということが示されています。

もちろんその高い目標への到達のためには、卒業後もさらに学びを深めたり、社会の中で経験を重ねたりする必要があるかもしれません。しかしそのためにもそれを目指せるだけの資質・能力をこの学校で身に着けておく必要があります。

そして、そのための手立てが、「校訓の体現」として示されているのです。

皆さんは、全国でも数少ない芸術の専門高校である本校を選んだのですから、「創造」ということに対しては、ひととき高い意欲を持っていると思います。

しかし「創造」するためには、人から何かを与えられるのを待つのではなく、自ら学び、考え、判断する力が求められます。これらがすなわち「自律」です。

また自らの思いを他者に届けるためには、独りよがりになることなく、相手の立場や気持ちに思いを寄せることが大切です。これがすなわち「恕思」ということです。

今日この場にいる2・3年生と、明日入学する1年生を加えた225名が互いに学びあう機会はこの一年間しかありません。どうかこの出会いを大切に、一日一日をいつくしみ、夢や理想に向かって、協働し切磋琢磨してほしいと思います。

この一年が、皆さんにとって豊かで実りあるものとなることを願い、式辞といたします。